

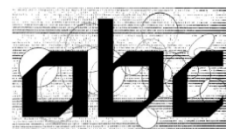
2025 年 11 月 10 日

各 位

ブロックチェーン活用の逆有償型スポンサーシップ開始！
～KOD 社との業務提携による「逆有償型スポンサーシップ」スキームの構築～

当社は、株式会社 KOD（本社：東京都、代表取締役：内山 高志）と業務委託契約を 2025 年 11 月 10 日付で締結し、ブロックチェーン技術を活用した新しいスポンサーシップモデル（以下、「本モデル」といいます。）の導入を進めております。

本モデルでは、ブロックチェーントークン「WOWBIT」を活用し、スポンサー企業に対して、将来的なトークン付与権（SAFT）または現物付与型のトークン付与方式を選択可能とする仕組みを採用しています。



1. 従来スポンサーシップの課題と本モデルの必要性

従来のスポンサーシップは広告露出を中心とする形式が一般的でしたが、支援効果の定量的な把握やスポンサー価値の持続性に課題がありました。

スポーツ団体や地域活動における資金調達手段の多様化が求められる中、持続可能で相互利益のある新たな支援モデルが必要とされています。

2. 逆有償型スポンサーシップの仕組み

本契約に基づき、当社は株式会社 KOD と連携し、スポンサー企業に対し WOWBIT トークンを活用した「逆有償型スポンサーシップ」を推進します。

本モデルでは、スポンサー企業が提供する支援金をもとに、スポーツ団体・アスリート・アーティスト・地域活動等への支援を実施し、その成果や活動実績に応じて、WOWBIT トークンによる付与・運用を行う仕組みです。

スポンサー企業は、以下いずれかの方式で WOWBIT トークンを受領できます。

- 将来対価契約 (SAFT)：支援者（スポンサー）に対し、将来の WOWBIT トークン付与権を発行（標準 24 か月後に付与）
- 現物付与型：スポンサー契約締結時に WOWBIT を付与し、一定期間（標準 24 か月）の譲渡制限（ロックアップ）を設定

さらに、支援対象の活動成果に応じて、一定の条件を満たす場合に WOWBIT トークンの一部を焼却（バーン）する仕組みを設けており、これにより供給量の調整を通じた健全なエコシステム形成を目指しています。

バーンの実施条件（トリガー）は、スポンサー企業ごとの個別契約に基づき設定されるものであり、以下はその一例です。

- 公式戦での勝利またはタイトル獲得
- スポンサー企業や主催イベントにおける一定の成果・目標達成
- 双方協議の上、合意された特別イベントやマイルストーンの実施

これらの条件は、契約締結時に当社および株式会社 KOD の協議・承認を経て個別に定められ、内容・適用有無・バーン割合（例：0.3～1.5%）等は案件ごとに異なります。

なお、バーンはトークン価値の上昇や投資収益を保証するものではなく、あくまで支援成果を反映する象徴的な運用として位置付けられています。

このようにスポンサー企業は単なる広告出稿にとどまらず、支援成果に応じて価値が循環する新しい応援の形として参加することが可能になります。

3. 実施体制と役割分担

本モデルは、発行体であるシンガポール法人 WOWOO PTE. LTD. により発行・管理されるトークン「WOWBIT」を活用しており、当社はトークンの発行・デリバリーには関与せず、技術的支援およびスキーム設計・運用支援を行う立場となります。

株式会社 KOD は、選手・ジム等の現場運営を担当し、当社は以下の範囲において事業支援を行います。

- スポンサー企業の開拓、契約・交渉支援
- スポンサー資金の分配および支援金送金に関する管理
- トークン付与方式（SAFT／現物）の設計・技術的実装サポート
- 成果指標（トリガー）発生時の報告・公開に関するオペレーション整備
- モデル導入企業へのガイドライン提供および広報連携支援

4. 今後の展望

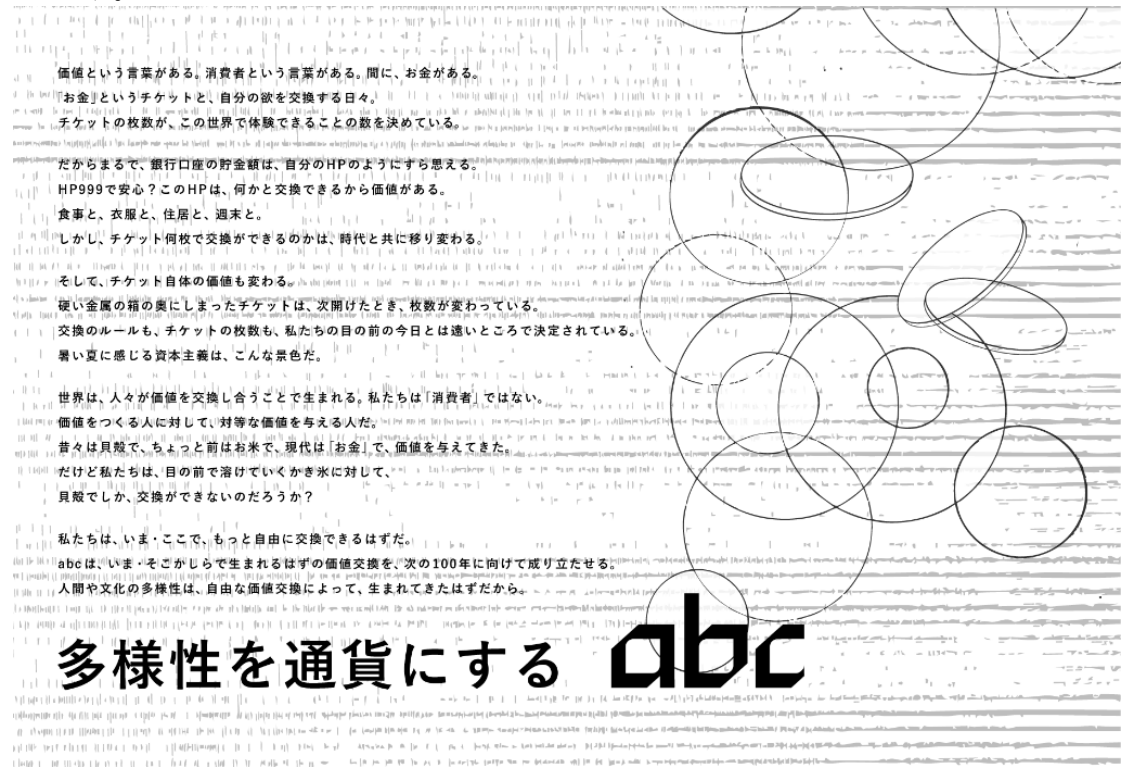
当社では、まずスポーツ領域を中心に実証的な導入を進め、その後、地方創生・エンターテインメント・教育分野など、幅広い分野への応用可能性を検討してまいります。

今後も、関連法令およびガイドラインを遵守しつつ、適法かつ透明性の高い仕組みとして本モデルの社会実装に向けた準備を進めてまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのように思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違うところで決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちろんと今はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくお米に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこがらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上